

高校生環境宣言

『未来へ～2050年に向かって、私たちの思い～』

東北6県の代表高校が一堂に集まり、「持続可能な社会」について学びながら環境活動の報告や座談会を行いました。「基調講演」や「環境映像研修」で学んだ後、自分たちの活動を『SDGs(持続可能な開発目標)』に照らし合わせながらそれぞれの思いを話し合い、環境問題に取り組む仲間との意見交換は大いに刺激になりました。また、座談会には講師、ファシリテータ、主催・共催者も参加し、高校生の今後の活動の一助となるアドバイスをしました。最後にこの日の学びを「高校生環境宣言」として発表しました。

開催日 2017年8月4日(金)

主催 独立行政法人環境再生保全機構 全国ユース環境ネットワーク事務局

共催 環境甲子園(NPO法人環境会議所東北)

協力 Date fm エフエム仙台(株式会社エフエム仙台)

基調講演 東北大学大学院環境科学研究科 香坂玲 教授

「世界・日本の問題と私たちの未来 ～自然共生と持続可能な社会を目指して～」

ファシリテータ Date fm エフエム仙台 石垣のりこアナウンサー



香坂玲 教授



石垣のりこ アナウンサー

高校生環境宣言(未来へ～2050年に向かって、私たちの思い～)

青森県 八戸工業高等専門学校

産業システム工学科マテリアル・バイオ工学コース



秋元 日菜子さん(3年)



中村 日向子さん(3年)

私たちは分析化学や無機化学などの専門化学を学んでいます。設備も豊富なので、水の分析化学実験など環境に関わる学びとともに実験技術を身に付けることも目標の一つです。自分でテーマを探し研究する「自主探求学習」や卒業研究にも取り組みますが、私(中村)はドイツ留学で学んだバイオマス発電について研究に取り組みもうと思っています。自分たちが今、勉強していることが、SDGsの「産業と技術革新の基盤をつくる」などの持続可能な社会につながっていくと思うので、技術の知識を深め、それを発信していきたいと思っています。

秋田県 秋田県立横手清陵学院高等学校

総合技術科 環境工学類



佐藤 萌愛さん(3年)



田中 柚さん(3年)

学校では建築・土木に関する専門的な知識と技術を学ぶ中で、環境保全や環境開発に取り組む技術者として必要な能力と態度を身に付けることを目標にしています。環境とは何かを考えると、人の生活・社会・学習・自然などさまざまな要素があります。例えば道路工事を行う際に人の生活のためだけでなく、「ロードキル」の問題など動物の生態系を考慮するべきだと思いますが、さまざまな要素を踏まえ、話し合い学び合うことの大切さを感じています。将来土木・建築に携わる者として、環境に対する倫理観を土木工事で示していきたいと思っています。

岩手県 岩手県立遠野緑峰高等学校

草花研究班



菊池 礼雄さん(3年)



菊池 成雄さん(3年)

遠野市は全国屈指のホップの一大産地ですが、年々生産者が減少していることが問題でした。私たちは廃棄され焼却処分されるホップの蔓から繊維を抽出し、世界に類のない和紙を完成させました。製作途中に使うアルカリ剤や漂白剤などの環境への影響が課題でしたが、今春、化学薬品を一切使わない製法を開発。ホップ農家と協同で産業振興を目指しています。これからさらに地域への普及を進め、廃棄されるものから副産物としてクリーンな和紙をつくることで、遠野に和紙文化をつくっていきます。各地域で取り組んでいる問題は共有し、協力し合うことが大事。世界を変えていくためにまずは地域から取り組み、発信したいと思います。